

今月号のテーマは、「はぐくみ」です。

はぐくみは、人間が生涯行い続ける営みですが、特に大事なはぐくみの時期は、就学前の7歳ぐらいまでと言われています。それは、人間が生きていく上で最も大事な自尊心と利他心が、その頃に育まれるからです。3つ子の魂は、一生の財産です。

就学前のはぐくみに役立つのは、仲間との絵画、音楽などの芸術活動とスポーツ、運動だとされています。県では、なら歴史芸術文化村やまほろば健康パークで、はぐくみを実践します。

はぐくみに深く関連するのが、女性の貢献です。女性は一生お忙しく、家事、育児、仕事、介護に頑張ってください。3月8日の国際女性デーは、そのような女性に敬意を表す日だと思っています。さまざまな分野での女性の一層の活躍が期待されます。奈良県では、女性の就業率の伸び率が全国1位※1、女性管理職の割合が全国2位※2になるなど、頑張ってくださいのはうれしい限りです。

※1 平成27年から令和2年にわたる女性(20~64歳)の就業率の伸びを国勢調査の結果から比較

※2 帝国データバンク「女性登用に対する奈良県企業の意識調査(2022年)」(2022年12月19日)

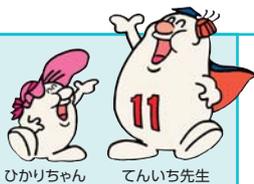


奈良県知事

荒井正吾

毎月11日は人権を確かめあう日

人権 コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

外国人の方々に災害弱者にしないために

先日、第11回東アジア地方政府会合がインドネシア・西ジャワ州で開催され、奈良県からも訪問団を派遣しました。出発前日に西ジャワ州内で大きな地震があったものの、幸いにも開催地周辺では被害がなかったため、滞りなく会合は開催されました。一方で、もし滞り中に災害が起きたら、言葉の通じにくい海外では、どのように情報を入手すればいいのだろうと、不安な気持ちになりました。

出入国在留管理庁が行った「令和3年度在留外国人に対する基礎調査」によると、在留外国人の災害時の困り事として、「信頼できる情報をどこから得ればよいか分からなかった」が最多の12.2%と、在留外国人の多くが同様の不安を抱えていることが想像できます。

県内在住の外国人の方々に災害弱者にしないために、県では災害時に被災外国人を支援する「災害時通訳・翻訳ボランティア」の登録や、登録ボランティアの養成研修などを実施しています。

日頃から地域で助け合える関係があれば、いざ災害が起きた時、外国人の方々も心強いことでしょう。まずは、地域で何か困っている外国人がおられたら、声をかけるところから始めてみませんか。

今月のポスター



野迫川村立野迫川小中学校 4年
みなみりゅうのすけ 南 龍之介さん



智辯学園奈良カレッジ 小学部5年
ふじた さやね 藤田 清音さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

アンケート&プレゼント

県公式スマホアプリ「ナラプラス」などで「県民だより奈良」を読み、電子書籍版の感想をe古都ならで回答された方の中から抽選で10名にプレゼントが当たる!

3月号のプレゼント

焼き菓子セット

ひとつひとつ心を込めて手作りしています。ほっと一息、ティータイムにぴったりの焼き菓子です♪

※ご提供いただく個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用させていただきます。
※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

【商品のお問い合わせ先】
社会福祉法人 大和高田育成福祉会ここふらっと
☎0745-52-8547



アンケート応募方法

1 ナラプラスをダウンロード

ダウンロードはこちらから▼



Android版



iOS版

締め切りは
3月26日(日)
※3月1日以降応募
できません



2 ナラプラスで下部メニューボタンのeブックを選択し、電子書籍版「県民だより奈良2023年3月号」を読む

3 e古都なら電子申請サービスにアクセスし、アンケートを回答

※パソコンやタブレットでも応募可。詳しくは「奈良県電子申請サービス」で検索。



※「県民だより奈良」への感想やご意見は引き続きハガキでも受け付けています。